

コラム 緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る

ヒメユズリハ (*Daphniphyllum teijsmannii* Zoll. ex Kurz)

中島有美子（国際航業株式会社）

y.nakajima213@gmail.com



ヒメユズリハはユズリハ科ユズリハ属の常緑小高木で本州（福島県以南）・四国・九州の丘陵帯の海岸に多く生育し（写真-1），樹高は3~10 mとなる¹⁾。葉は単葉で互生し，葉の表面は濃緑色で光沢があり，裏は淡緑色，葉柄は赤く枝先に集まる¹⁾。実生の葉には粗い鋸歯がある（写真-2）。樹皮は灰褐色で平滑で皮目をつける²⁾。雌雄異株で，花は雌雄花ともふぞろいの萼片が3~6個あり，花弁はなく，花期は5~6月である²⁾。果実は楕円形の核果で12~1月に藍黒色に熟し，長さ0.8~0.9 cmとなる²⁾（写真-3）。

ヒメユズリハは庭木や街路樹でもよく用いられ，西日本では正月の鏡餅の飾りとしても用いられる等，縁起木とされる⁶⁾。植栽にあたっては，宮城県南部海岸以南，日本海側は冬の寒風が遮られる場所で積雪の少ないところを選べば，新潟県付近以西で越冬可能と考えられている⁸⁾。また，ヒメユズリハは海岸の潮風の強いところでの庭木や緑地植栽に適しており⁸⁾，関東以西では海岸林への導入種の一つとされている^{4,5)}。例えば神奈川県の湘南海岸の海岸林ではクロマツの下層へ植栽され多層林を形成⁴⁾しているとともに（写真-4），海岸林を保護する目的で造成された海側最前線の低木林でも低木種に混生して生育する個体もみられた。また，静岡県の遠州灘沿岸の砂丘造成盛土へも植栽され生育状況が調査されている⁹⁾。



写真-1 クロマツの海岸林に侵入したヒメユズリハ

ヒメユズリハは沿岸域の照葉樹林³⁾や海岸風衝低木林の構成種¹⁰⁾として自生するほか，クロマツやアカマツ林から広葉樹林へ遷移した海岸林のいくつかでも確認されている⁷⁾（写真-1）。その場合，ヒメユズリハは海側最前線の低木林に混生するほか，背後の高木林の最も海側で優占することが多い⁷⁾。海岸林は海側から陸側にかけて林冠高が高くなる風衝林形をとることが多く，ヒメユズリハは海側の林形の形成に寄与していると考えられる（写真-5）。海岸林は樹高が高いほど背後の減風域が広くなる等，防災機能の向上にあたって樹高の確保が重要となる。潮風等に対する高い耐性を有し，かつ小高木で10 m程度まで樹高を確保できるヒメユズリハは海岸林の重要な構成種と考えられる。

一方で，ヒメユズリハがどの程度の潮風等で枯損し，その後どのように再生するかは不明点が多い（写真-6）。また，筆者らが西南日本の太平洋側のクロマツ林から遷移した広葉樹の海岸林で調査を行ったところ，ヒメユズリハが優占する海岸林の土性は砂土に限られ，壤土の海岸林ではほとんど生育が確認されなかった⁷⁾。

今後，ヒメユズリハの潮風等に対する応答や立地選好性を明らかにしていくことで，より本種の活用の幅が広がると考えられる。

引用文献

- 1) 馬場多久男（1999）葉でわかる樹木，信州毎日新聞社，p.262.
- 2) 馬場多久男（2009）葉実でわかる樹木，信州毎日新聞社，p.255.
- 3) 服部 保（1993）タブノキ型林の群落生態学的研究：II. タブノキ型林の地理的分布と立地条件，日本生態学会誌，43（2）：99-109.
- 4) 神奈川県（2008）湘南海岸風景 湘南海岸砂防林となぎさ散歩道，神奈川県，p.1.
- 5) 交通基盤部森林局森林保全課（2013）静岡県海岸防災林における森林整備方針，静岡県，p.8.
- 6) 長居植物園.“長居植物園植物図鑑”. 長居植物園ホームページ. <https://zukan.nagai-park.jp/official/20230115151053/> (参照：2023年9月11日)

- 7) 中島有美子・吉崎真司 (2018) 西南日本における暖温帶の常緑広葉樹で構成される海岸林の群落型と立地条件について, 日本緑化工学会誌, 43 (4) : 596-604.
- 8) 野田坂伸也 (2011) 木を選ぶ 野田坂造園樹木事典, 株式会社アボック社, p.98.
- 9) 静岡県.“ふじのくに森の防潮堤づくり”.静岡県ホームページ. <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/chutonarin/1034195.html> (参照: 2023年9月21日)
- 10) 上田萌子・服部 保・澤田佳宏・上甫木昭春 (2015) 暖温帶の自然海浜におけるウバメガシ群落の分布と種組成に関する研究, ランドスケープ研究, 78 (5) : 659-662.



写真-2 ヒメユズリハの実生



写真-3 ヒメユズリハの実（未熟果）



写真-4 クロマツ林の下層に植栽されたヒメユズリハ
(神奈川県湘南海岸)



写真-5 海側でヒメユズリハが優占する広葉樹海岸林
(高知県大岐海岸)



写真-6 林冠の一部が枯損したヒメユズリハ